

ニュース NEWS

HOME > ニュース > トクヤマ、太陽光パネルリサイクル技術を更なる高みへ NEDO公募において研究開発が採択

トクヤマ、太陽光パネルリサイクル技術を更なる高みへ NEDO公募において研究開発が採択

2026年03月30日

株式会社トクヤマ

株式会社トクヤマ（本部：東京都千代田区、社長：横田 浩）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（理事長：斎藤保氏 以下、NEDO）による2025年度「太陽光発電導入拡大等技術開発事業／循環型社会構築リサイクル技術開発」に係る第2回公募において、「低温熱分解法による低コスト処理技術とシリコンリサイクルへ向けたセルの分離技術開発」（以下、本事業）が採択されましたのでお知らせいたします。

当社は、2019年度から6年間のNEDOとの共同開発により、太陽光パネルからカバーガラスやセルなどを特殊な触媒を用いて分離する「低温熱分解法」を確立いたしました。本事業では、この技術を基軸として、2028年度までの3年間を目途に、さらなる低コスト処理技術と、従来課題であったセルからシリコン等を抽出するマテリアルリサイクル技術について研究開発を進めてまいります。

本事業を通じて、2030年代に到来するとされる太陽光パネル大量廃棄問題を解決するため、高度なりサイクル技術の社会実装を目指します。「埋め立てしない、100%再資源化」の実現に向け、循環型社会構築の一助となるべく尽力してまいります。

1. イメージ図



2. 低コスト処理技術について

トクヤマ独自の技術である低温熱分解法を用い、以下の項目について、さらなる技術の確立を目指します。

- ・2024年度までに開発を終えた第1世代熱分解炉から熱効率を向上させ、処理速度を短縮・エネルギーコストが低減できる第2世代熱分解炉の開発、処理条件の確立、様々なパネルの処理技術の拡大
- ・低コスト処理を実現させる実証プラントとして、高効率化とともにモジュール処理の自動化工程の構築
- ・省エネ・LCAの開発を進め、シミュレーションを通じて再生可能エネルギーの活用に向けた経済合理性及び低炭素化の検証

3. マテリアルリサイクル技術について

これまで国内で実用化されていないセル分離によるシリコンリサイクルの検討を行います。低温熱分解法より得られる太陽電池モジュールのセル部分のシリコンと銀を抽出する分離プロセスを開発・実証することで、新たなマテリアルリサイクル技術を確立します。

以上

<<本件に関するお問い合わせ先>>

株式会社トクヤマ 広報・IRグループ

TEL：03-5207-2552

ニューストップ

会社情報

社長メッセージ

トクヤマのビジョン

会社概要

役員紹介

コーポレート・ガバナンス

組織図

事業紹介

拠点・グループ会社

沿革

購買基本情報

アクセス

よくあるご質問

製品情報

化学品

エレクトロニクス

建設資材

ライフサイエンス

環境

SDSダウンロード

製品特設サイト

株主・投資家情報

経営方針

IRイベント

IRライブラリ

個人投資家の皆さまへ

業績・財務情報

株式・社債情報

研究開発

本部長メッセージ

研究開発体制

研究テーマ紹介

受賞歴一覧

学会発表

論文紹介

製品開発物語

サステナビリティ

トクヤマのサステナビリティ

マテリアリティ

サステナビリティ・ガバナンス

レスポンシブル・ケア

環境への取り組み

環境負荷物質・廃棄物の削減

地球温暖化防止への取り組み

保安防災・労働安全衛生

従業員とともに

トクヤマの健康経営[®]

社会とともに

サステナブル調達

社会からの評価

データ集

方針一覧

ニュース

採用情報

新卒採用

キャリア採用

インターンシップ